

PET-CTおよびPET-MRIの保険適用疾患

■ PET(E101-2 ポジトロン断層撮影)

No.	疾患名	診断目的	備考
1	てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する。	
2	心疾患	虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断(他の検査で判断のつかない場合に限る。)又は心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者に使用する。	※2
3	悪性腫瘍 (早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む。)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。 なお、悪性リンパ腫の治療効果判定のために行った場合については、転移・再発の診断の目的に該当する。[疑義解釈あり]	※1 2008年診療報酬改定継続

※1

【使用用途】	【対象傷病名】	【診断目的】
鑑別診断	肺癌、頭頸部癌、乳癌、大腸癌、転移性肝癌	・他の検査、画像診断でその存在を疑うが、病理診断により確定診断が得られない患者 (医学的な理由(生検リスクが高い等)によって病理診断が困難であった場合については、臨床上高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断される場合)[疑義解釈あり]
鑑別診断	脾癌	・脾癌の場合、他の検査、画像診断で脾癌を疑うが、腫瘤形成性脾炎と鑑別が困難な患者[疑義解釈あり]
原発巣検索	原発不明癌、転移性肝癌	リンパ節生検、画像診断等で転移巣が疑われ、かつ、腫瘍マーカーが高値を示す等、悪性腫瘍の存在を疑うが、原発巣の不明な患者

■ PET/CT(E101-3 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影)

No.	疾患名	診断目的	備考
1	てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する。	
2	悪性腫瘍 (早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む。)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。 なお、悪性リンパ腫の治療効果判定のために行った場合については、転移・再発の診断の目的に該当する。 なお、文中の「画像診断」からは、コンピューター断層撮影に係るものを除く。	※2 2008年診療報酬改定継続

※2

上記表を満たさないが、PET(E101-2 ポジトロン断層撮影)の表に定める要件を満たす場合、PET(E101-2 ポジトロン断層撮影)で算定する。

(E101-3 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 算定要件(3)より)

■ PET/MRI(E101-3 ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影)

No.	疾患名	診断目的	備考
1	悪性腫瘍 (脳、頭頸部、縦隔、胸膜、乳腺、直腸、泌尿器、卵巣、子宮、骨軟部組織、造血器、悪性黒色腫)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。 なお、文中の「画像診断」からは、磁気共鳴コンピューター断層撮影に係るものを除く。	